令和５年度　児童養護施設静岡ホーム事業報告

「キリストの愛」と児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、倫理綱領等に則り、すべての職員が一体となって「子どもの最善の利益」に適うよう、児童の権利を擁護し、自立に向けた支援計画を策定して、子どもたち一人ひとりが個性豊かでたくましく思いやりのある人間として育ち、自立した社会人として生きていくことができるよう、多様な社会経験を積める機会を提供し、養育・支援を行った。

子どもたちが「できる限り良好な家庭的環境」において生活できるよう、小規模施設４棟を設置・運営するとともに、本体施設の小規模ユニットケアに向けた大規模修繕工事の準備作業に着手した。

また、新型コロナウイルス感染症の５類移行を受け、感染対策を取りつつも研修や行事等を積極的に実施した。

１　養育・支援

(1) 入退所児童の状況

何らかの事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもの養育は、平成 28 年改正の児童福祉法において「家庭養育優先原則」の考えが打ち出され、「家庭における養育環境と同様の養育環境（里親家庭での養育等）」が優先的に考慮されることになった。児童養護施設に対しては、「できる限り良好な家庭的環境」としていくための地域分散化、小規模化が求められており、施設で暮らす子どもの人数は減少傾向にある。

こうした中、今年度は、７人が入所し、７人が退所、月平均の在籍児童は 53.6 人で、定員（70 人）に対する充足率は 76.5%であった。

〈入退所児童の状況〉　（単位：人）

区分	入所児童						退所児童				
	家庭	乳児院	他施設	ファミリーホーム	里親	計	家庭引き取り	自立	グループホーム	20歳到達	計
人数	3	1	1	0	2	7	3	2	2	0	7

〈在籍児童数の推移〉　（単位：各月初日、人、%）

年度		28	29	30	1	2	3	4	5
在籍児童数	延人数	792	803	770	784	742	706	722	643
	月平均	66.0	66.9	64.2	65.3	61.8	58.8	60.2	53.6

(2) 一時保護児童の受入れ

児童相談所における虐待対応件数の増加に伴う保護児童の増加や処遇困難な児童及び保護者の施設入所の同意が得られず、一時保護期間が長期化するケース等により、施設等への一時保護委託が増加し、本施設では児童 15 人を延べ 376 日受け入れた。受託日数の平均は 25 日で最長は 275 日であった。

⑶ 食生活の向上

児童にアンケートを実施したり、新メニューを開拓するなど、飽きの来ない献立作りに努めると共に、子どもが希望したおやつやお弁当のおかずを可能な限り提供した。体調不良の児童には、個々の体調に合わせた食事提供を心掛けた。

嗜好調査は、年２回、食に興味を持てるようクイズ形式にしたり、ルールやマナーについて子どもたちの考えや思いを汲み取れるような設問を作るなど工夫を凝らして実施した。

本体施設の地域分散化により設置した地域小規模児童養護施設（分園型小規模グループケアを含む）においては、施設ごとに献立を作成し、子どもが職員と一緒に買い物や調理を行うなど、食生活の向上に努めた。

また、園内の畑でジャガイモ、大根、ラディッシュ等を育て、毎日の水やりを通しその成長過程を子どもと共に見守り、収穫し、食し、食材にも興味が持てるような機会を設ける等、食育に努めた。

なお、食生活委員会では感染症予防対策に十分配慮したうえで、各グループでの調理体験を行った。普段食する機会の少ないメニューを計画し、味付けや具材を子どもたちと一緒に考え、調理を行ったり、買い物体験を取り入れ、食材購入から実施することで、子どもの食に対する知識や興味関心の向上を図った。

⑷ 衣習慣の習得

衣服は、清潔で身体や季節に合うものを選択するとともに、好みや個性を大切にしながら衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援した。

また、購入には職員と一緒に出かけ、年齢や一人ひとりの子どもの状態にあった整理の仕方や TPO を意識した衣習慣が身につくよう支援した。

⑸ 住環境の整美

住環境を整えるため、日々の掃除に努めるとともに、子どもたちと一緒に清掃する機会を増やすことで職員だけでなく子どもたちにも清掃の大切さを体感する機会を設けた。

また、各グループの家具や壁等の破損個所は、速やかに修繕することで常に心地よい環境を整えた。

⑹ 性に関する教育

安心・安全な施設生活を目指し、自立・共生の力を育むため、生（性）に関する正しい知識や関心が持てるよう、性教育委員会（かえでの会）を中心に「プライベートゾーン、プライベートエリア、回避行動（ノー・ゴー・テル）」を基本とする年齢別の学習会を延べ 14 回実施した。（個別対応も含む）

⑺ 子どもの主体性を育む余暇活動

社会への適応力を高め、豊かな人間性を育てるため、子どもたちの意向を踏まえた園行事を企画し実施した。

５月に新型コロナウイルス感染症が５類移行したことを受け、クリスマス祝会や節分豆まきといった季節行事、レストランでの食事会、夏のキャンプ、冬のスキーなど、従来に近い形で実施することができた。

各種団体の招待・訪園行事は、Ｊリーグの清水エスパルスやＢリーグのベルテックス静岡のホームゲームの観戦、富士山静岡交響楽団による演奏会など、スポーツや文化・芸術に触れる機会を持ち、子どもたちが楽しみながら感性を磨き情操を育むよう努めた。

また、情緒を安定させ自立を支援するため、ピアノ教室と手芸教室を開講し、発表会を開催するなど、表現活動の場を設けた。

（単位：件）

園企画行事	招待・訪園行事	県養協行事
60	32	4

⑻ 学習・進学支援

基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、主に小学生を対象に個々の能力に合った公文式学習に取り組んだ。目標を設定することで、主体的に学習に向かえる児童が増え、さらに様々な職員に学習の様子を見てもらう“参観日”の取り組みによって、自己肯定感が育まれた。

また、児童により中学進学後も公文学習を継続して行うことで、作業力や継続力が身に付き、進路について考えるきっかけとなっている。

なお、学習ボランティアの活用や中・高校生の通塾により、大学等の高等教育への進学意欲が高まっている。

⑼ 心理的ケアの充実

愛着形成や自己肯定感の向上を図るため、グループセラピー、児童相談所嘱託医による心理的・医学的知見を現場へ伝えるスーパーバイズを実施した。

また、個別のケアが必要な児童については、静岡市児童相談所におけるプレイセラピーや園内の個別面接で対応し、それ以外の児童は生活場面の要所で心理的知見に基づく関わりやアドバイスを通じて日常的にケアを行った。

（単位：回）

スーパービジョン	グループセラピー	プレイセラピー	個別面接
12 回（毎月）	5回	延 96 回	延 23 回

⑽ 自立支援の充実

○ 入所児童の自立支援

小中学生を対象とした CCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト）を行い、『こんな大人になりたい・将来こんなことをやってみたい』といった将来に対して肯定的な展望を持てるよう支援した。

また、施設退所後に自立を予定している高校性を対象に、一人暮らしを疑似体験させることで退所後の生活をより具体的にイメージできるよう、自活訓練を実施した。

○ 退所児童へのアフターケア

施設を退所し自立する児童には、行政手続きや金融機関の口座開設に同行し、自立した児童には、定期的な電話やメール、家庭訪問により生活状況を確認し、生活上の相談・指導を行うことで社会的自立を支えた。

○ 静岡ホーム自立支援基金による支援

入所児童の就職又は大学等への進学若しくは修学に際し必要な経費に充てるため、寄付金を原資として静岡ホーム自立支援基金を設置している。また、預貯金がなく、入学金、授業料等の入学時納付金等の納付が困難な者に対する無利子貸し付けに関する規定も設けている。

○ 措置解除児童の生活相談業務

18 歳到達により児童福祉施設への措置が解除された者の生活相談業務を静岡市から受託し、児童の自立を支援した。

対象児童	支援項目	件数	支援内容
入所児童	ソーシャルスキルアップ	5	・掃除洗濯等生活支援（通年支援） ・調理体験 ・自活訓練支援（高校生２人・１～２週間/人） ・アパートの内覧同行、契約関係書類の作成支援 ・銀行口座開設手続き同行
	自立支援教育	15	・CCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト） ・職業相談、VRT 職業興味検査 ・企業見学（中高生） ・㈱東海道シグマ「新社会人セミナー」
退所児童	電話・メール	345	・近況確認 ・家計簿の確認による金銭管理状況の把握 ・奨学金、他給付金の書類作成指導や入金手続き ・相談援助（体調不良、人間関係、近隣トラブル、税金、各種行政手続き　など） ・生活支援（通院同行、引越し・部屋掃除手伝い　など） ・就労支援（関係機関との連絡調整、就労継続のための職場訪問、離職手続き　など）
	来園面接	5	
	訪問面接	0	
	職場訪問	0	
	その他	1	
生活相談	電話・SNS	578	・対象児童 12 名（静岡ホーム退所児童８名、その他の施設退所児童４名）に対する電話、SNS、面接等による生活相談
	面接	103	
計		1,052	

２　家族への支援

児童の早期家庭復帰や親子関係の修復・再構築に向け、家庭訪問や親の仕事の都合・家庭状況に合わせた月２回の定期的な面会・外出・外泊と夏季・冬季における１週間の長期外泊を実施した。

また、自活訓練棟を活用した家族（親子・きょうだい）交流を実施した。

交流前は、保護者に施設や学校等での様子（幼児や低学年児は担当職員との交流ノートを活用）を伝え、交流後は、家庭での様子を確認するとともに、面談を希望する保護者から個別に子どもの養育や今後の交流について相談を受けた。

その結果、家庭引き取りとなったケースが１家庭３名、交流を開始したケースが 17 家庭 21 名であった。

なお、家庭状況の悪化等により交流を一時停止したケースは２家庭２名であった。

３　自立支援計画

子どもの権利を保障し適切な養育を行うため、一人ひとりの子どもの心身の発達と健康の状態及びその置かれた環境を的確に把握・評価（アセスメント）し、養育支援と家庭復帰支援からなるケアプランを作成した。

「つながる力」、「挑戦する勇気の力」、「能力」、「かけがえのない自分を認める力」の４項目を高める支援を軸に、医療面、心理面、ファミリーソーシャルワークなど、具体的な支援内容が設定されているため、処遇職員はエビデンスに基づいた養育支援に努め実行した。

子どもが納得したうえで作成されたケアプランは、子ども自身が目標達成に向けて前向きに取り組み、自立支援を支えた。

４　権利擁護

(1) 人権擁護と人権侵害の防止

子どもたちの人権を守り、子どもたちが安心して生活が営めるよう、静岡県児童養護施設協議会主催の権利擁護推進研修会への職員の参加、「懲戒に係る権限の濫用禁止（平成10年2月18日）」及び「被措置児童等虐待対応ガイドライン（児童福祉法第33条の10）」の周知と「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検、投書箱「こどもの声」の設置などにより、人権擁護と人権侵害の防止に努めた。

(2) 被措置児童等虐待の防止

子どもたちに対する虐待や虐待を疑わせる行為、或いは虐待と受け止められる行為の防止について徹底を図るため、グループ会議の議題に取り上げ、加えて職員会議で再確認する場を設けて職員全体で被措置児童等虐待防止に取り組んだ。

児童の逸脱行動には複数の職員で対応し、虐待を疑われる状況が発生しないよう努めた。

また、投書箱「こどもの声」を設置することで子どもたちからの直接的な訴えができる環境を用意し、安心・安全で透明性の高い養育を心掛けた。

５　事故防止と安全対策

災害時における児童の安全を確保し被害の軽減を図るため、消防設備機器等の取扱いを学ぶとともに、火災・地震を想定した定期的な通報・消火・避難訓練を実施した。

施設設備に起因した事故や災害等を未然に防止するため、建築基準法等に基づいた建築設備定期検査、消防設備点検、電気設備点検、貯水槽点検・清掃などを実施した。

今年度は、高校生の自転車通学中の交通事故、幼児の転倒による受傷等６件の事故が発生した。また、事故には至らなかったものの、児童間のトラブル等 81 件のヒヤリハットが発生した。

事故やヒヤリハットのリスク要因を分析し、職員間で共有するとともに、子どもたちへの指導や対策を講じることにより、事故の未然防止に努めた。

６　新型コロナウィルス感染症対策

今年度、児童９名、職員６名が新型コロナウィルス感染症に感染した。

児童の感染が確認された際は、陽性児童は政府の外出控え推奨期間の５日間、別棟又は個室で隔離・静養を行い、その他の児童もグループ間の交流を控える等、施設内での感染拡大防止に努めた。

７　地域交流と地域支援

(1) 地域との交流

地域に開かれた施設としてグラウンドや楓ホールを開放するとともに、町内会との防災訓練や子ども会行事を含む町内行事に参加し、交流を深めた。

また、子どもたちの学習やイベントなどを支援するボランティアを積極的に受入れた。

(2) ショートステイの受入れ等の地域支援

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童を入所させ保護を行った。今年度のショートステイの受入れは４人、延べ 23 日であった。

また、近隣大学への講師の派遣や関係機関・団体の施設見学について、可能な限り対応した。

８　職員の専門性の向上

被虐待児の入所が半数を超え、支援困難なケースや発達障害を有する児童が増加しており、養育を担う職員のより高い専門性が要求されている。

また、地域小規模児童養護施設等のグループホームや今後整備される本体施設の小規模ユニットにおいては、職員一人ひとりの力量が問われ、知識・技術・経験に裏打ちされた養育が必要とされる。職員のスキルアップを図り、専門性を高めるため、CARE プログラムやコモンセンス・ペアレンティング・プログラム習得などの職場内研修を実施するとともに、全社協等関係団体主催の専門研修に参加した。

９　施設の運営

⑴ 会議・委員会等の開催

子ども一人ひとりの養育の向上と円滑な施設運営を図るため、施設内における各種会議や委員会を開催するとともに、関係機関との連絡会を開催した。

〇施設内の各種会議

名称	開催回数	内容
運営会議	12	施設の運営方針等重要事項、課題等の検討
職員会議	11	施設運営に関わる事項（運営・指導方針、行事予定、提案事項等）の調整、周知
グループ会議	11	児童の生活支援等グループ運営事項（運営計画・自立支援計画・児童処遇・行事等）の調整
ケース検討会議	12	支援及びケアプラン内容の評価及び協議・検討
ケース会議	随時	ケースの支援・進路方針等の協議調整
朝会	毎日(日-祝除く)	日々の連絡調整
昼会	毎日(土日祝除く)	日々のケースの共有
サービス向上推進会議	10	第三者評価結果に対する改善事項の協議調整
食生活委員会	11	食を通じた健康・衛生・嗜好を知る機会の提供
性教育委員会	11	性教育の実践
広報委員会	11	広報誌の発行、ＨＰの更新等の調整
防災対策委員会（防災会議）	12	消防計画の委員会審議事項の協議調整、防災訓練の実施 ＊書面会議含む
苦情解決委員会	1	第三者委員との定期協議
養保連絡会	4	児童養護施設と保育所との連携業務の調整

〇関係機関との連携

児童相談所、幼稚園、小中高等学校、里親家庭支援センター　など

⑵ 人事・労務・健康管理

ア　職員の確保

措置費加算対象の基幹的職員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員、職業指導員、看護師、学習指導員、特別指導員を配置するとともに、静岡市補助金により心理療法担当職員を加配して、養育・支援体制を確保した。

また、保育士及び児童指導員については、ホームページへの求人の掲載、大学等への求人票の提出、インターンシップの受入れ、求人サイトの活用により、令和５年度は６人（応募 10 人）の新卒者を採用した。

なお、キャリア（経験者）採用として、非常勤職員４人を採用した。

イ　職員の健康の維持

定期的な健康診断の実施やインフルエンザの予防接種、リフレッシュ休暇（年 2 回の 4 連休）の取得促進などにより、職員の心身の健康の維持・増進を図るとともに、勤務シフトや業務内容を見直し、長時間労働の是正に努め、より働きやすい環境づくりを行った。

⑶ 施設・設備の保全

安全で快適な生活環境と施設機能の維持・耐久性の確保を図るため、老朽化した施設・設備の補修、故障・破損した備品の買い替え等を行った。

〇施設・設備（建物以外の基本財産、固定資産に当たるもの及び 30 万円以上の修繕等）

大規模修繕工事基本設計業務委託、厨房ＥＨＰ更新工事

〇器具及び備品（10 万円以上のもの）

車両購入、非常照明灯及び誘導灯改修工事、デジタルカメラ、受水槽ドレン修繕工事、ビオトープ藻類対策工事、めぐみ・なごみ外倉庫設置工事、勤怠管理システム導入

⑷ 施設運営の質の向上

児童養護施設運営指針に掲げられている目指すべき状態に近づけられるよう、サービス向上推進会議において令和３年度に受審した第三者評価の課題改善に努めるとともに、自己評価を実施した。

⑸ 福祉専門職養成校実習生の受入れ

県内外の大学、短期大学、専門学校の福祉専門職養成校に在籍する学生 40 人の施設実習を受け入れ、福祉分野への就労を志す者の養成に寄与した。

また、児童福祉施設業務を体験し、知識を深めたいとする学生についても、児童のプライバシーの保護と安全に十分配慮しながら６人をインターンとして受け入れた。

〈実習〉　（単位：校、人、日）

区分	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習	計
実習校	14	2	3	19
実習生	29	3	8	40
実習延日数	298	30	174	502

10　広報活動の推進

開かれた施設運営を目指し、広報誌「メープルスマイル」やホームページにより施設の取り組みや子どもたちの生活の様子を発信した。

11 里親支援

里親家庭への訪問及び電話・メール相談、児童相談所を含む里親支援機関との連携、里親認定前研修の講義・実習を行うとともに、相談員会議において子どもたちのニーズについて共有することで支援に繋げた。

また、子どもから里親利用について積極的な発信があり、家庭支援専門相談員やユニット担当職員、関係機関と共同しながら子どもの最善の利益が実現されるように努めた。

なお、静岡ホームから里親委託後、２ケースが不調となり再入所となった。関係機関と不調の要因や今後の課題について協議し「子どものための里親制度とはなにか」ということを再認識するとともに、里親の資質向上について今後も各機関が協力していくことを確認した。

＜相談支援＞　（単位：件）

訪問	来園・面接	電話・メール	計
6	8	19	33

＜里親認定前・更新研修＞　（単位：人）

認定前研修		更新研修
講義	実習	
4	3	1

＜ショートルフラン里親利用状況＞　（単位：人、日）

利用実児童数	延べ利用児童数	延べ利用日数
14 （うち定期的利用 12）	120	344

12 施設の小規模・地域分散化の推進

施設の小規模・地域分散化を進め、「できる限り良好な家庭的環境」において子どもたちを養育できるよう、新たに地域小規模児童養護施設なごみを開設し、小規模施設４か所体制とした。

また、令和６年度、７年度に予定している本体施設の小規模ユニットケアに向けた大規模修繕工事の基本設計を行った。

≪附属明細書≫

1　入退所状況

(1)　入退所状況

（単位：人）

区分	令和４年度末	入　所							退　所						令和５年度末
		家庭	乳児院	児童養護施設	児童自立支援施設	里親	その他	計	家庭	ｸﾞﾙｰﾌﾟホーム	他施設	自立	その他	計	
男	22	0	1	0	1	0	0	2	3	0	0	1	0	4	20
女	29	3	0	0	0	2	0	5	0	2	0	1	0	3	31
計	51	3	1	0	1	2	0	7	3	2	0	2	0	7	51

(2)　月別在籍児童数

（単位：人、％）

区分	定員	初日在籍児童数												充足率
		施設別					学齢別						計	
		本園	のぞみ	めぐみ	ひかり	なごみ	幼児	小学生	中学生	高校生	大学等	その他		
5年4月	70	33	5	5	6	6	6	18	8	20	2	1	55	78.6
5月	70	33	5	5	6	6	6	18	8	20	2	1	55	78.6
6月	70	33	5	5	6	6	6	18	8	20	2	1	55	78.6
7月	70	32	5	5	6	6	6	18	8	20	2	0	54	77.1
8月	70	32	5	5	6	6	6	18	8	20	2	0	54	77.1
9月	70	31	5	5	6	6	6	17	8	20	2	0	53	75.7
10月	70	31	5	5	6	6	6	17	8	20	2	0	53	75.7
11月	70	31	5	5	6	6	6	17	8	20	2	0	53	75.7
12月	70	31	5	5	5	6	6	17	8	20	1	0	52	74.3
6年1月	70	32	5	5	5	6	7	17	8	20	1	0	53	75.7
2月	70	32	5	5	5	6	7	17	8	20	1	0	53	75.7
3月	70	32	5	5	5	6	6	18	8	20	1	0	53	75.7
計	840	383	60	60	68	72	74	210	96	240	20	3	643	76.5

(3)　一時保護児童数

（単位：人）

区分	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	計
児童数	1	1	5	1	6	2	1	2	1	1	1	2	24
延人数	30	31	38	31	80	34	31	33	31	5	22	10	376

＊実人員は 15 人

２　入所児童の状況

(1)　年齢・男女別児童数

（令６年３月１日在籍児童：人）

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳以上	総数	平均年齢
男	０	０	１	２	０	０	１	１	１	１	２	０	１	１	２	３	４	１	21	12.9
女	０	０	０	１	１	１	２	３	４	０	１	２	２	３	１	４	３	４	32	12.8
計	０	０	１	３	１	１	３	４	５	１	３	２	３	４	３	７	７	５	53	12.8

(2)　措置時の年齢

（令和６年３月１日在籍児童：人）

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	総数	平均年齢
男	０	７	１	０	２	０	１	２	０	０	２	２	０	２	２	０	０	０	21	7.9
女	０	９	２	４	４	０	３	２	２	１	１	１	０	２	１	０	０	０	32	6.4
計	０	16	３	４	６	０	４	４	２	１	３	３	０	４	３	０	０	０	53	6.11

(3)　在籍児童の在所期間

（令和６年３月１日在籍児童：人）

区　分	児童数	区　分	児童数	区　分	児童数
１年未満	７	７年以上　８年未満	４	14 年以上 15 年未満	０
１年以上 ２年未満	４	８年以上　９年未満	３	15 年以上 16 年未満	１
２年以上 ３年未満	10	９年以上 10 年未満	４	16 年以上 17 年未満	１
３年以上 ４年未満	３	10 年以上 11 年未満	１	17 年以上 18 年未満	０
４年以上 ５年未満	３	11 年以上 12 年未満	１	18 年以上	０
５年以上 ６年未満	２	12 年以上 13 年未満	２	計	53
６年以上 ７年未満	４	13 年以上 14 年未満	３	平均在所期間	５年９月

(4)　出身地別児童数

（令和６年３月１日在籍児童：人）

措置機関	静岡市	静岡県								浜松市	計
市町		沼津市	島田市	富士市	焼津市	藤枝市	袋井市	牧之原市	吉田町		
人数	34	０	１	２	４	５	１	３	３	０	53
		19									

⑸　措置理由別児童数

（令和６年３月１日在籍児童：人、％）

入所理由（主訴）	人数	割合	入所理由（主訴）	人数	割合
父母の死亡	0	―	父母の放任怠惰	11	20.8
父母の行方不明	0	―	父母の虐待	18	34.0
父母の離婚	0	―	父母の養育拒否	3	5.7
父母の不和	1	1.9	棄児	0	―
父母の拘禁	1	1.9	破産等経済的理由	2	3.8
父母の入院	3	5.7	児童の監護困難	3	5.7
父母の就労	2	3.8	その他	3	5.7
父母の精神障害	6	11.3	計	53	100.0

⑹　被虐待児童数

（令和６年3月1日在籍児童：人、％）

虐待の種類	人数	割合
身体的虐待	19	35.8
性的虐待	0	―
ネグレクト	17	32.1
心理的虐待	3	5.7
実人員	39	73.6

⑺　入所経路

（令和６年３月１日在籍児童：人、％）

家庭	乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	里親	ファミリーホーム	その他	計
31	12	0	2	2	4	1	1	53
58.5	22.6	―	3.8	3.8	7.5	1.9	1.9	100.0

⑻　保護者の状況

（令和６年３月１日在籍児童：人、％）

実父母あり	実父のみ	実母のみ	実父と養(継)母	養(継)父と実母	祖父母	伯(叔)父母	その他	不明	計
21	1	22	2	5	2	0	0	0	53
39.6	1.9	41.5	3.8	9.4	3.8	―	―	―	100.0

⑼　児童の心身の状況

（令和６年３月１日在籍児童：人）

健全	31	心的外傷後ストレス障害（ＰＴＳＤ）	0
身体虚弱	0	反応性愛着障害	3
肢体不自由	1	注意欠如多動症（ＡＤＨＤ）	3
視聴覚障害	0	限局性学習症（ＬＤ）	2
言語障害	1	自閉スペクトラム症（ＡＳＤ）	11
知的障害(IQ69 以下)	7	適応障害	0
てんかん	0	その他	1

＊医師の診断によるもの　重複あり

(10) 児童の罹患傾向

（令和６年３月1日在籍児童：人）

ほとんど病気しない	11	ぜんそく	4
ひきつけをすることがある	0	食物アレルギー	1
下痢をしやすい	4	その他のアレルギー	9
よく熱を出す	5	花粉症	17
風邪をひきやすい	1	その他	14
湿疹が出やすい	3		

＊重複あり

(11) 退所児童の在所期間

（令和５年度退所児童：人）

区　分	児童数	区　分	児童数	区　分	児童数
１年未満	0	７年以上　８年未満	0	14 年以上 15 年未満	0
１年以上 ２年未満	1	８年以上　９年未満	0	15 年以上 16 年未満	0
２年以上 ３年未満	3	９年以上 10 年未満	0	16 年以上 17 年未満	1
３年以上 ４年未満	1	10 年以上 11 年未満	1	17 年以上 18 年未満	0
４年以上 ５年未満	0	11 年以上 12 年未満	0	18 年以上	0
５年以上 ６年未満	0	12 年以上 13 年未満	0	計	7
６年以上 ７年未満	0	13 年以上 14 年未満	0	平均在所期間	5年1月

(12) 中高生の進路

（令和６年３月末：人）

区分	措置継続	措置解除	計
中学生	県立特別支援学校高等部	―	1
高校生	静岡福祉大学 清水看護専門学校 静岡デザイン専門学校	就労（グループホーム） 就労（ひとり暮らし）	5

３　性教育の実施内容

対象児童	内容	実施回数
幼児	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア　回避行動	1
小学１～３年生	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア　回避行動	2
小学４～６年生	プライベートゾーン　プライベートエリア　回避行動 洗体、洗髪の方法　二次性徴（月経教育含む）	2
中学生	身体の仕組み　二次性徴　思春期の変化	4
高校生	性欲のコントロール・性交　妊娠・避妊・中絶　性的同意	5

４　行事の実施状況

(1)　園企画行事

（単位：人）

月日	行事名	グループ名	児童数
4/1	グループ行事「新年度グループ児童と職員の団欒」	男子	8
4/2	新入学祝外出「ディズニーランド」	男子 女子 めぐみ ひかり なごみ	10
4/8	グループ行事「歓迎会(おやつ作り)」	女子	10
5/3	在園児外出「映画鑑賞 シネシティザード」	全グループ	35
5/4	在園児外出「外食」	女子 ひかり	8
5/4	在園児外出「清水マリーナサーカス」	西	4
5/6	在園児外出「神明ボウル、外食」	のぞみ	5
5/6	在園児外出「てんとう虫パーク」	めぐみ	4
5/7	在園児外出「カラオケ、外食」	なごみ	5
5/28	在園児外出「掛川花鳥園」	東	5
6/11	園内行事「もぐもぐ　カレー・スムージー作り」	全グループ	30
7/1	グループ行事「花火」	ひかり	5
8/3	グループ行事「青木ヶ原樹海」	めぐみ	5
8/3	グループ行事「川遊び、BBQ」	のぞみ	5
8/5	グループ行事「すいすいパークぷるる」	ひかり	5
8/7	グループ行事「富士宮市民プール」	のぞみ	3
8/7	園内行事「タイの高校生と zoom で交流会」	全グループ	25
8/9	在園児外出「映画鑑賞 シネシティザード」	全グループ	30
8/10	在園児外出「草薙の湯」	めぐみ	4
8/12	在園児外出「名古屋港水族館」	のぞみ	4
8/18	グループ行事「名古屋アンパンマンミュージアム」	のぞみ	5
8/22	グループ行事「ピザ作り体験」	ひかり	5
8/23	グループ行事「外食」	東	7
8/25	グループ行事「富士山こどもの国」	西	7
8/27	グループ行事「外食」	女子	8
8/28	グループ行事「外食」	なごみ	6
9/8	グループ行事「園内キャンプ」	男子	5
9/18	グループ行事「外食」	男子	5
9/18	グループ行事「映画鑑賞 シネシティザード」	ひかり	5
10/15	グループ行事「ディスカバリーパーク焼津」	めぐみ	5
11/12	グループ行事「熱海散策」	のぞみ	2
11/23	グループ行事「名古屋港水族館」	ひかり	5
11/23	グループ行事「夕食作り　たこやき」	なごみ	6
11/25	グループ行事「ピクニック」	東	7
11/26	園内行事「もぐもぐ　ハンバーガー作り」	全グループ	33

12/3	グループ行事「ピクニック」	東	3
12/27	在園児外出「ラウンドワンスタジアム浜松店」	のぞみ	4
12/27	在園児外出「映画鑑賞 シネシティザード」	全グループ	21
12/28	園内行事「お餅つき」	全グループ	21
12/29	在園児外出「伊豆グランパル公園」	男子 女子	3
12/30	在園児外出「瀬戸谷温泉 ゆらく」	西	4
12/30	在園児外出「清水港イルカツアー、外食」	なごみ	3
12/31	在園児外出「てんとう虫パーク、外食」	めぐみ	3
1/1	在園児外出「まかいの牧場」	東	3
1/27	グループ行事「スノーパークイエティ」	男子	5
2/12	グループ行事「浜名湖パルパル」	なごみ	4
2/17	グループ行事「イエティ」	西	8
2/18	グループ行事「てんとう虫パーク」	ひかり	5
3/3	グループ行事「外食」	ひかり	5
3/9	グループ行事「ACAO FOREST 香水作り」	女子	9
3/13	グループ行事「ホテルグランヒルズ静岡」	男子	6
3/15	グループ行事「外食」	西	8
3/16	グループ行事「外食」	女子	9
3/17	グループ行事「映画鑑賞 シネシティザード」	西	8
3/19	グループ行事「外食」	のぞみ	5
3/20	園内行事「ピアノ・手芸作品発表会」	西 のぞみ ひかり なごみ	11
3/22	グループ行事「外食」	東	6
3/18	グループ行事「外食」	なごみ	6
3/25	グループ行事「狐ヶ崎ﾔﾝｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾞｳﾙ、外食」	めぐみ	5
3/28	グループ行事「横浜アンパンマンミュージアム」	東	5
60 回			延 491 人

(2) 招待・訪園行事

月日	行事名	グループ名	児童数
4/1	さわやか招待「食事提供」	めぐみ	5
4/1	ベルテックス静岡招待「B リーグ観戦」	女子	3
5/7	東京海上日動火災㈱招待「J リーグ観戦」	男子	2
5/13	東京海上日動火災㈱招待「J リーグ観戦」	西	3
5/20	宅見氏他 4 名訪園「ドッグセラピー」	全グループ	24
5/28	東京海上日動火災㈱招待「J リーグ観戦」	女子	2
6/10	英和女学院高校訪園「花の日」	東 西	14
6/18	ピュール招待「七五三記念撮影」	東 西	5
7/17	村松昭彦氏招待「スイカ狩り」	東	3

7/22	静岡橘 LC 招待「安倍川花火大会」	西 のぞみ めぐみ なごみ	8
7/28	日本キリスト教団静岡教会「ｻﾏｰﾊﾟｰﾃｨｰ」	東 西 のぞみ めぐみ ひかり なごみ	19
8/1	富士山静岡交響楽団訪園「演奏会」	東 西 男 女 のぞみ めぐみ なごみ	31
8/9	しずおか焼津信用金庫招待「映画鑑賞」	東 西 のぞみ めぐみ なごみ	12
8/17	日本ラーメン協会訪園「食事提供」	全グループ	52
8/19	東京海上日動火災㈱招待「Ｊリーグ観戦」	のぞみ	2
8/26	静岡巽 LC 訪園「夏祭り」	全グループ	40
9/30	静岡 LC 招待「BBQ 黄金の湯」	全グループ	29
10/7	東京海上日動火災㈱招待「Ｊリーグ観戦」	女 のぞみ	2
10/10	ふるさと訪園「食事提供」	全グループ	53
11/3	静岡市里親会招待「一日里親体験会」	東	7
11/4	英和女学院高校訪園「収穫感謝」	東	7
11/5	TOKAIｸﾞﾙｰﾌﾟ訪園「ｷｯﾁﾝｶｰによるﾗﾝﾁ提供」	全グループ	52
11/9	日本キリスト教団静岡教会「子ども祝福式」	東 西 のぞみ めぐみ ひかり なごみ	20
11/19	食肉組合訪園「食事提供」	全グループ	51
12/17	日本キリスト教団静岡教会「ｸﾘｽﾏｽ祝会」	東 西 のぞみ めぐみ ひかり なごみ	21
12/26	ｲﾝﾌﾟﾚｽﾋｭｰﾏﾝ訪園「クレープ提供」	全グループ	46
2/3	駿河健康ランド招待「温泉」	西 男 女 のぞみ めぐみ ひかり なごみ	35
2/20	日本中国料理協会訪園「食事提供」	全グループ	53
3/3	一文字氏訪園「ヨガ教室」	西 女	12
29 回			延 613 人

5　ボランティアの活動

（単位：人）

活動内容	協力者	人数	延人数
余暇支援	大学生（常葉大学、静岡福祉医療専門学校）	６	７６
	一般	４	５１
	書道教室	１	２
	ヨガ教室	１	１
学習指導	常葉大学ボランティアサークル「つくしんぼ」	１１	７３
	大学生（常葉大学、静岡県立大学）	２	１５
環境整備	一般	１	４１
	御前崎市更生保護女性会	１４	１４
散髪	一般	１	１２
	グレイス	１	２７
	ビューティー高田	１	４
	ユリ美容室	１	１
	美容室 Mu	１	１
		４５	３１８

６　心理対応

(1)　スーパービジョン

（単位：人）

年月日	対象児童	テーマ・内容	講師	参加職員数
4/21	５名	昨年度のケースの振り返り	三田 Dr.	16
5/24	５名	昨年度のケースの振り返り	奥村 Dr.	17
6/16	年長女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	13
7/12	高１男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	10
9/20	高１女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	12
9/29	小３女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	11
10/20	小３女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	13
11/15	中２女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	12
12/8	年少男児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	9
1/17	高２女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	19
2/16	小２女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	11
3/6	高１男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	12
12 回				延 155 人

＊子どもや家族への支援向上を目指す現場重視の事例検討

講師：奥村 Dr.（精神科医）、三田 Dr.（小児科医）

(2)　グループセラピー

グループセラピー	対象児童	実施回数	目的・内容
感覚遊び ワークショップ	希望児童	３／年	乳幼児期に十分に遊ぶことのできなかった子どもたちへ、遊びの中でも初歩的と言える感覚遊びを楽しむ場を、年齢を問わず提供する。
変身セラピー	希望児童	２／年	特別な衣装やアクセサリー等を用いて、子どもたちが自由に変身できる場を提供する。変身を通じて、子どもたちが抱える傷つきやねじれに働きかけ、子どもたち自ら癒す力を得ることを目的とする。

(3)　プレイセラピー

対象児童	実施回数	実施時間	目的・内容
６人	１回／月	１時間×２人	遊びを通して関わることで、子どもの不全感や怒り、劣等感、寂しさ等の感情を緩和・軽減させる。 講師から児童支援に関する助言をいただき、児童相談所(児童心理司)を交えた３者で密な連携を図る。
	２回／月	45 分×３人	

＊講師：松平准教授（静岡県立大学短期大学部）

(4)　その他心理療法等（単位：回）

個別面接	生活場面面接
23	400

7　児童の健康管理

(1)　月別受診状況

（単位：人）

年月	外科 整形外科	内科 小児科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	神経科 その他	計
５年４月	1	31	0	2	4	14	8	60
5月	7	21	2	0	2	9	4	45
6月	4	37	4	13	6	4	5	73
7月	4	32	1	10	2	17	10	76
8月	3	29	2	6	5	3	7	55
9月	1	25	2	6	3	5	4	46
10月	0	38	1	4	3	13	4	63
11月	1	31	2	1	2	13	4	54
12月	0	18	0	5	2	8	6	39
６年１月	2	19	0	7	2	23	3	56
2月	0	31	5	5	2	14	5	62
3月	4	35	6	5	6	11	6	73
計	27	347	25	64	39	134	66	702

(2)　健康診断・予防接種

（単位：人）

区分		月日	対象児童	人数	備考
健康診断		R5.8/24	幼児～高３	53	
		R6.3/22	幼児～高３	49	
予防接種	日本脳炎	R5.7/6	幼児	2	１期追加
		7/25	中学生	1	２期
		7/27	小学生	1	１期１回
		7/27	小学生	1	２期
		8/4	小学生	1	２期
		8/21	小学生	1	１期２回
	二種混合（ジフテリア・破傷風）	R5.7/25	中学生	1	２期
		7/27.8/4	小学生	2	２期
	HPV ワクチン	R5.8/29	中学生	1	１回目
		R6.3/14	中学生	1	２回目
	おたふく	R6.3/14	高校生	1	

区分		月日	対象児童	人数	備考
	インフルエンザ	R5.10/13	小学生	1	
		10/13	幼児	1	
		10/23	小学生	1	
		10/25	高校生	1	
		10/27	高校生	1	
		11/2	幼児	1	
		11/22	高校生	1	
	新型コロナウィルスワクチン	R5.5/12	小学生	2	ファイザー3回目
		5/15	幼児	1	ファイザー3回目

8　家族（保護者）支援等の状況

(1)　家族（保護者）との交流状況

（令和5年3月1日在籍児童：人）

交流あり				交流なし	計
帰宅	外出	面会	電話・手紙		
16	11	16	2	8	53

(2)　家族（保護者）との交流頻度

（単位：人）

区分	月1回以上	年2回～11回	年1回位	計
帰宅	10	6	0	16
外出	2	8	1	11
面会	0	13	3	16
電話・手紙	1	0	1	2

(3)　一時帰省状況

（単位：人）

区分	期間	児童数	備考
夏季	8/9～16	31	夏季・冬季ともに個別のケース対応により期間長短あり
冬季	12/27～1/3	37	

(4)　ショート・ルフラン里親

（単位：人、日）

区分	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	計
児童数	10	9	7	13	11	9	10	9	10	10	10	12	120
延日数	19	29	16	24	53	20	37	22	34	27	29	34	344

9　子どもの意向・苦情（こどもの声への投書）

（単位：件）

要望	改善提案	苦情	感謝	その他	計
8	0	0	0	2	10

10　防災・安全対策実施状況

(1)教育

（単位：人）

月日	教育内容	参加児童数	参加職員数
5/8	消防設備（非常用放送設備・自動火災報知設備）取扱説明	0	16
7/15	「避難情報」と「防災気象情報」について説明 防災 DVD 視聴「大雨のとき気をつけること　早めに避難するヒント」	38	9
12/9	県防災センター見学「B コース 90 分防災シアター＋風水害」	14	4
3回		延 52 人	延 29 人

(2)　防火・防災訓練

（単位：人）

月日	訓練名称	想定災害	実施時間帯	訓練内容						
				通報	初期消火	消火訓練	避難	その他	参加人員	
									児童	職員
4/29	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		23	8
5/20	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		19	7
6/18	避難訓練	地震	日中	○	○	○	○	自衛消防訓練通知	25	8
7/15	避難訓練	土砂災害	日中				○	防災 DVD 視聴 情報伝達訓練（職員）	16	6
8/20	避難訓練	地震	日中				○		15	5
9/23	避難訓練	地震	日中				○		13	6
10/22	避難訓練	火災	日中		○	○	○		12	6
11/1	社会福祉施設 防災の日訓練	地震・火災	日中	○	○	○	○	消防署立会 応急処置講習 保育学園と合同訓練	2	7
12/3	町内防災訓練		日中		○	○	○	町内との連携	30	9
1/20	避難訓練	地震・火災	日中		○				14	5
2/11	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		13	6
11 回									182	73

(3)　点検・検査

項目	月日	
消防用設備点検	5/8	11/15
空調設備点検・清掃	5/16	11/8
貯水槽点検・清掃	7/7	
建築設備定期検査（建築物・建築設備・防火設備）	10/31	
簡易専用水道検査	11/28	
電気設備年次点検	3/6	

11　関係機関等との連携

(1)　児童相談所との連携

連絡会			その他
月日	児童相談所	内容	
5/30　6/23 1024　11/21	静岡市児童相談所	措置児童の情報交換 進路、家庭引き取り、里親委託、措置変更など	個別ケースの連絡・面接・ケース検討会等の実施
6/20 11/17	静岡県(中央･富士)児童相談所		

(2)　幼稚園・学校との連携

幼稚園･学校名	月日	内　　容
かえで幼稚園	随時	新入園児のホームでの生活の様子等
安西小学校	８回／年	児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
井宮小学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
末広中学校	随時	児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
籠上中学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
各高等学校	随時	学期ごとの面接、進路面接など

12　地域交流と地域支援

(1)　地域交流

（単位:人）

月　日	内　　容	参加児童数	参加職員数
R5.5/21	井宮町子ども会ボウリング大会	2	1
6/18	神明町資源回収	0	1
7/22～24、8/25～27	井宮町子ども会ラジオ体操	―	―
8 /5	井宮町子ども会町内夏祭り	18	9
8/26	籠上夏祭り	11	2
9/10	井宮町資源回収	0	1
9/16	神明町祭子どもみこし	5	2
10/1	安西学区大運動会	17	5
10/14	白髭神社祭みこし(籠上子ども会)	3	1
11/2	井宮町防災委員会	0	1
12/3	井宮町防災訓練	30	9
12/16	籠上子ども会クリスマス会	3	1
1/27	籠上自治会節分祭	3	1
R6.2/4	井宮町おもちつき	25	7
3/10	井宮町子ども会入退会式	2	1
3/15	神明町子ども総会	2	1
16 回		延 121 人	延 43 人

⑵　地域支援

ア　ショートステイ受入れ

（単位：人）

区分	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	計
児童数	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
延人数	2	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	0	23

イ　レスパイト受入れ

（単位：人）

区分	5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
延人数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

ウ　施設開放

月日	団体	内容	場所
R5.7/2	井宮町自治会	町内親睦グランドゴルフ大会	グラウンド
8/1	静岡東高等学校	課題研究インタビュー	本体施設
9/5	常葉大学短期大学部１年	施設見学	本体施設
12/3	井宮町自治会	地域防災訓練	グラウンド
R6.2/2	静岡市立看護専門学校	研究授業インタビュー	本体施設

13　職員研修実施状況

⑴　職場内研修

ア　全職員

月日	研修内容	講師
R5.9/7	心を落ち着かせる呼吸法	西田スーパーバイザー
10/5	個別セキュリティ講習会	キャノンシステムアンドサポート㈱
11/2	対応力向上研修	西田スーパーバイザー
12/7	働き方を考えよう労働時間管理について	小山特定社会保険労務士
R6.1/11	自傷の理解と対応	西田スーパーバイザー

イ　新任職員

月日	研修内容	講師
R5.5/9	CARE プログラム研修Ⅰ	静岡ホーム職員
5/23	CARE プログラム研修Ⅱ	
6/8	CARE プログラム研修Ⅲ	
6/15	性教育研修会	静岡市児童相談所保健師
R6.1/24	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅰ	静岡ホーム職員
2/29	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅱ	

月日	研修内容	講師
3/4	新任（入職前）研修１	静岡ホーム職員
3/7	新任（入職前）研修２	
3/20	新任（入職前）研修３	
3/23	新任（入職前）研修４	
3/25	新任（入職前）研修５	
3/26	新任（入職前）研修６	
3/29	新任（入職前）研修７	
3/24	公文学習新任職員研修	公文教育研究会法人事業部

ウ　中堅職員研修

月日	研修内容	講師
7/6	組織におけるコンプライアンス	西田スーパーバイザー

⑵　職場外研修

ア　全社協・県社協等研修　（単位：人）

月日	研修会名	会場	参加職員数
R5.7/31	安全運転管理者講習	静岡市	1
11/13	吉原林間学園創立 60 周年記念講演(暴力防止研修会)	静岡市	2
R6.3/2	福祉防災シンポジウム 能登半島地震の次に備えて	静岡市	1

イ　全養協・県養協研修　（単位：人）

月日	研修内容	会場	参加職員数
R5.6/13	県養協・県乳児協新任職員研修会	静岡市	6
6/30	県養協指保部会研修１	伊東市	2
7/7	関東ブロック児童養護施設研究協議会	東京都	1
10/19	県養協指保部会研修２	富士市	1
11/6～8	全国児童養護施設長研究協議会	兵庫県	1
12/12	県養協指保部会研修３	浜松市	4
12/14	静岡県児童権利擁護推進研修会１	静岡市	3
R6.1/18	静岡県児童権利擁護推進研修会２	静岡市	2

14　実習生の受入れ

（単位：日、人）

区分	期間	日数	人数	実習校
保育実習Ⅰ	4/20～4/30	30	3	静岡産業技術専門学校
	5/8～5/19	20	2	東海こども専門学校
	6/5～6/16	20	2	聖隷クリストファー大学
	6/20～6/30	20	2	常葉大学　浜松キャンパス
	7/3～7/16	24	2	浜松学院大学短期大学
	7/20～7/31	20	2	浜松未来総合専門学校
	8/1～8/12	10	1	静岡産業大学
	8/7～8/18	20	2	常葉大学　草薙キャンパス
	8/16～8/29	12	1	浜松学院大学
	8/21～9/2	10	1	静岡県立大学短期大学（子ども学科）
	9/4～9/17	10	1	静岡福祉大学
	9/19～9/30	10	1	常葉大学短期大学
	10/2～10/13	10	1	常葉大学短期大学
	10/2～10/13	10	1	静岡福祉医療専門学校
	10/16～10/27	10	1	常葉大学短期大学
	11/6～11/17	10	1	常葉大学短期大学
	11/20～12/1	10	1	常葉大学短期大学
	10/23～11/5	12	1	静岡県立大学短期大学（社会福祉学科）
	12/4～12/15	10	1	大阪芸術大学（通信教育課程）
	3/4～3/15	20	2	常葉大学短期大学
保育実習Ⅲ	6/5～6/16	20	2	常葉大学
	2/5～2/16	10	1	聖隷クリストファー大学
ソーシャルワーク実習	5/13～7/29	78	1	日本総合研究所　社会福祉士養成所
	8/17～9/13	28	1	静岡英和学院大学
	10/10～10/18	9	1	静岡英和学院大学
	11/6～12/8	33	1	日本総合研究所　社会福祉士養成所
	12/9～12/23	15	1	日本総合研究所　社会福祉士養成所
	2/19～2/23	5	2	静岡英和学院大学
	3/7～3/12	6	1	静岡県立大学短期大学部
計（延日数・実人員）		502	40	

15　インターンシップの受入れ

（単位：人、日、校）

参加者数	参加延日数	学校数	参加者の在籍校
6	12	5	常葉大学、静岡福祉医療専門学校、静岡英和学院大学、信州大学院、社会人

16　里親支援の状況

＜里親会及び里親支援機関との連携＞

月日	内容	参加児童数	参加職員数
4/18～3/12（9回）	里親相談員会議	―	1
8/19	里親キャンプ	3	1
9/7、9/21	ケースカンファレンス	―	1
11/3	1日里親体験事業	7	1
3/8	里親懇談会	―	1
3/8	ショートルフランの調整	―	2
15回		延10人	延7人

17　視察研修の受入れ

（単位：人）

月日	団体名	人数
5/18	児童相談所等保健業務担当者会議	7
7/13	静岡県児童養護施設協議会家庭支援専門相談員部会	12
8/23	山梨県弁護士会	17
11/20	御前崎市更生保護女性会	14
4回		延50人